

令和4年7月28日

川西市議会議長

久保 義孝 様

厚生文教常任委員長

岡 留 美

委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

厚生文教常任委員会における審査の経過と結果について

(審査日：令和 4 年 7 月 2 5、2 6 日)

1 . 議案第 6 0 号 令和 4 年度川西市一般会計補正予算 (第 3 回)

議案の概要

第 1 表 歳出第 3 款民生費。第 1 0 款教育費。

質疑の概要

第 1 表 歳出

第 3 款 民生費

問 福祉施設や保育施設等への原油価格・物価高騰等に対する運営支援交付金として、各事業の負担金、補助及び交付金が追加補正されているが、それぞれの算定根拠について伺いたい。

答 障害福祉施設への支援については、サービス給付費に基づいて一定割合で算定しており、介護保険施設への支援についても介護報酬に対する一定割合により算定し予算計上している。

答 認可外保育施設、認可保育所、こども園、留守家庭児童育成クラブ、プレイルーム等の保育施設及び教育費の私立幼稚園については、物価上昇率により給付額を算定し予算計上している。

問 幼児教育・保育推進事業の使用料及び賃借料において、清和台幼稚園を令和 4 年度末をもって廃園する方針が決定されたことに伴い、令和 4 年 9 月から令和 5 年 3 月までの牧の台みどりこども園への通園支援に要する費用として 2 3 0 万 1 0 0 0 円が追加されているが、清和台幼稚園の廃園が決定されていない段階で、本予算を提出する理由を伺いたい。

答 清和台幼稚園の廃園が決定していない状況であるが、「市立就学前教育保育施設のあり方について(原案)」において廃園に向けた方向性を定めるとともに、令和 5 年 4 月に入園応募を予定していた児童については、保護者の希望を聞いた上で、入園先のあっせん調整等の支援を行うこととしており、該当する保護者と協議をした上で今期に補正予算案を提出したところである。

問 今回、当事者は 4 歳から清和台幼稚園に入園させようと考えていたところ、今年度になって急に廃園の方針が示されたことにより、3 歳から保育を受けるタイミングも失したことが、支援実施の原因となったとの説明があったことから、近年の園

児募集の際に当該園の廃止時期等について、市の説明が不十分だったのではないかと考え、改めて今回の支援に至った経緯の詳細について伺いたい。

答 令和2年9月の段階では、令和4年度の園児募集を行わない可能性がある旨をホームページで周知していたものの、令和3年度の入園児数や保護者等の意見を踏まえた中で、4年度の入園児募集を例年どおり実施するとともに、今後においても、特段の事情の変更がなければ通常募集を継続する内容を伝えてきたところである。

こういった経過の中で、4年度の清和台幼稚園の入園児童が少なく、アンケート調査を踏まえた5年度入園希望児童と合わせても集団教育保育が実施できない事態となったことから、廃園の方針を固めたものであり、急激な方針転換があったことを踏まえ、対象児童への支援が必要と考えている。

答 今回、地元や対象者からは、公立が2年保育、私立が3年保育を実施している現状では、突然募集停止と言われても対応できないといったご意見をいただいております。市としても、幼稚園の廃園に当たっては、意思決定をしてから一定の期間を設け、最後の学年になることを宣言した上で園児募集を行うのが正しい方法であると考えている。

しかし、今回のケースでは、在籍児童が1名となる中で、もはや集団教育保育が困難な状況となったことを踏まえ、方針決定から通常よりも早いスケジュールで廃園しようとすることから、現在対象となっている児童に対して可能な限りの支援をしていく必要があると考え、この補正予算を提出したところである。

問 今回の対象者については、通園することが可能な公立幼稚園は、清和台地区から近い園や公共交通機関で通える園も存在していると考えますが、今回、牧の台みどりこども園に3歳児から通園するための支援を行う理由を伺いたい。

答 令和4年度末をもって清和台幼稚園を廃園すると決定したのは本年4月末であり、廃園までの期間が短いことのほか、通園支援の対象となる園児の保護者については、子供を清和台幼稚園に通わせたいという思いがあり、同園の廃園を早期に認知していれば、他の教育保育施設に3歳児から通園させていたと主張されていることから、市として一定の支援が必要であると考え、今回の支援内容で補正予算を計上することとなったものである。

問 今回の通園支援についてはタクシーの利用を想定して予算計上されているが、公共交通機関を利用するなどの方法は検討したのか。

答 清和台地区から牧の台みどりこども園への通園については、公共交通機関を利用した送迎が困難であることからタクシーでの通園支援の予算を計上しているが、今

後、保護者との調整を行いながら経費の縮減に努めたいと考えている。

問 子育て応援ギフトカード支給事業について、実施方法の詳細やDV避難者等で住民基本台帳の住所と異なる住所に居住している方への周知方法等について伺いたい。

答 今後、スマートフォン等を利用した電子決済等についても検討していきたいと考えており、DV避難者等への周知については、制度設計する中で検討していきたいと考えている。

第10款 教育費

問 議案質疑資料によると、給食費の単価は、小学校及び特別支援学校で250円、中学校で290円と設定されている。昨今、原油価格・原材料費の高騰が続いているが、今後の給食費の単価への影響について、市の見解を伺いたい。

答 現状では学校給食の食材費に関しては単価内でおさまっているが、原油価格や物価の高騰等に合わせて国の財源を活用できることがあるため、今後の動向によって検討を加えていきたいと考えている。

問 今回の補正予算で計上されている市立小中特別支援学校における給食費の無償化は2学期のみとなっているが、現時点の物価高騰等の影響に鑑み、来年以降にも延長する必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。

答 現時点において、市立小中特別支援学校における給食費の3学期以降の無償化は検討していない。

特記事項 議案質疑資料、修正案提出及び付帯決議あり

【議案質疑資料】

議60-8・9 02小学校給食費 02小学校給食運営事業 2学期の給食費無償化に係る事務的経費の詳細(システムや事務的経費など)について、及び生活保護世帯、準要保護世帯への対応の詳細(財源の流れを含む)について ほか

【修正案の内容】

第1条第1項中「214,150千円」を「211,849千円」に、「59,851,057千円」を「59,848,756千円」に改めるとともに、第1表 歳入、第21款、第1項 繰越金の補正額及び、歳出、第3款 民生費、第3項 児童福祉費の補正額をそれぞれ230万1000円減額修正する。

【修正案に対する質疑】

なし

【付帯決議】

議案第60号 令和4年度川西市一般会計補正予算(第3回)に対する付帯決議(要旨)

本補正予算案では、市立清和台幼稚園廃園の方針決定を受けた通園支援に要する経費の追加が含まれている。

公立幼稚園の園児数が減少の一途をたどっている現状に鑑みると、通園支援そのものを否定するものではないが、支援に至った経緯等に違和感を覚えざるを得ない。

しかし、この補正予算案を可決しないことには、支援対象となる子供が通園できないといった事態が生じる可能性が高い。

そこで、支援を実施するに当たっては慎重に検討されることを期待し、下記の事項について強く要望する。

記

1. 今回の通園支援を行う際には、透明性が確保されるよう説明責任を果たすこと。
2. 今後、支援に当たっては、公平性、公正性及び透明性が確保できるよう熟慮を重ね支援策を検討すること。

審査結果 修正案否決(賛成少数)、原案可決(賛成多数)